

2026年2月27日

## ヤクルトグループにおける人権尊重の啓発活動を実施

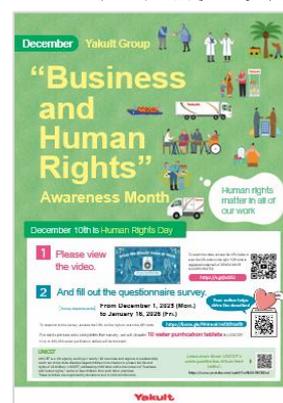
株式会社ヤクルト本社（社長 成田 裕）は、世界人権デー（12月10日）にあわせ、2025年12月を「ヤクルトグループ『ビジネスと人権』啓発月間」として、人権尊重の啓発活動を実施しましたのでお知らせします。

ヤクルトグループは、日本を含む世界40の国と地域でグローバルに事業展開しており、バリューチェーンのすべての人々の人権を尊重し、誰もが幸せを追求できる社会を構築することが、「私たちは、生命科学の追究を基盤として、世界の人々の健康で楽しい生活づくりに貢献します。」という企業理念の実現にもつながると認識しています。そして、この認識をヤクルトグループ従事者一人ひとりが持つことが大切であると考えており、2022年以来、毎年世界人権デーに合わせて啓発活動を実施しています。

今年度は、2025年10月に「ヤクルトグループ人権方針」（以下、当方針）を改定したことを踏まえ、改めてグループ従事者へ当方針の周知徹底と一人ひとりが人権尊重を意識することを目的として「人権方針をとおして知ろう ～仕事のなかで大切にしたい人権～」をテーマに啓発活動を実施しました。

ヤクルトグループは、事業に関わる全ての人の人権を尊重し、取り組みを継続的に改善しながら、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

### 【「ビジネスと人権」啓発月間 周知ポスター（日本語版・英語版）】



※日本語・英語を含む10言語で作成しました。

## 記

1. 名 称 : ヤクルトグループ「ビジネスと人権」啓発月間
2. 時 期 : 2025年12月
3. 対 象 : ヤクルトグループ全従事者
4. 活動内容 : (1) 対象者が、オリジナル啓発動画「人権方針をとおして知ろう ～仕事のなかで大切にしたい人権～」を視聴し、アンケートに回答しました。  
(2) 参加人数に応じて、一人につき浄水剤10錠として換算し、公益財団法人 日本ユニセフ協会の「ユニセフ支援ギフト」を通じてユニセフに寄付しました。  
※動画やアンケート、周知ポスターは、日本語・英語を含む10言語で展開しています。
5. 実施結果 : (1) 参加人数 26,556人  
(2) 寄付した浄水剤の数 270,000錠  
※1セット1万錠のため、切り上げて算出し寄付しました。

以 上